

令和7年度医療安全担当者交流会（市川・船橋）アンケート結果

	参加者数	アンケート回答数	回答率
市川地区（後藤先生）	31人	31人	100.0%
船橋地区（有吉先生）	39人	38人	97.4%
合計	70人	69人	98.7%

I. 参加者について

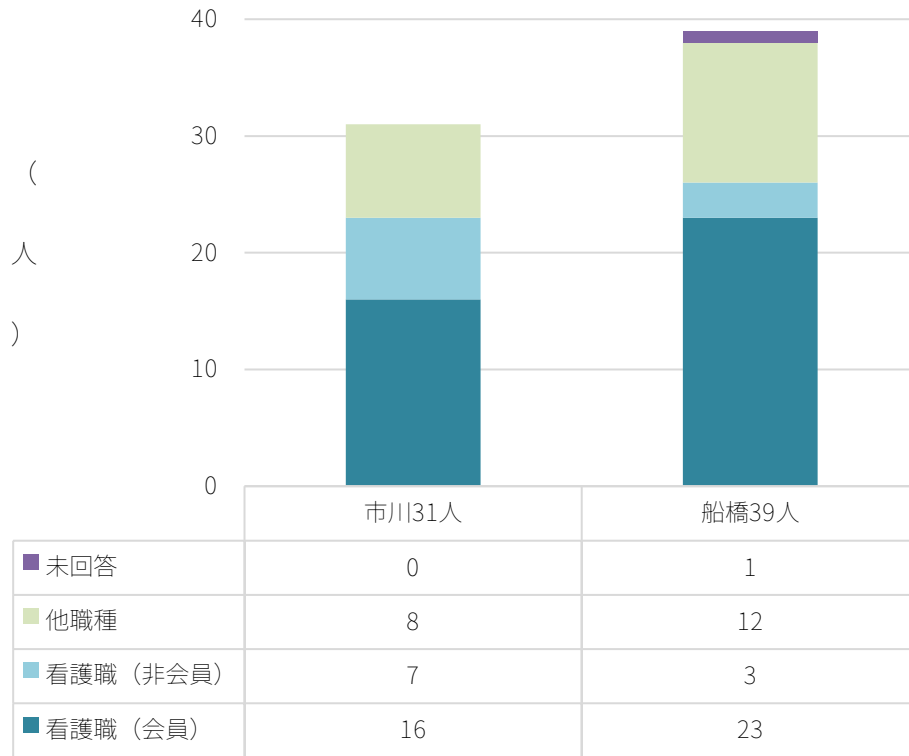


図1) 参加者の背景

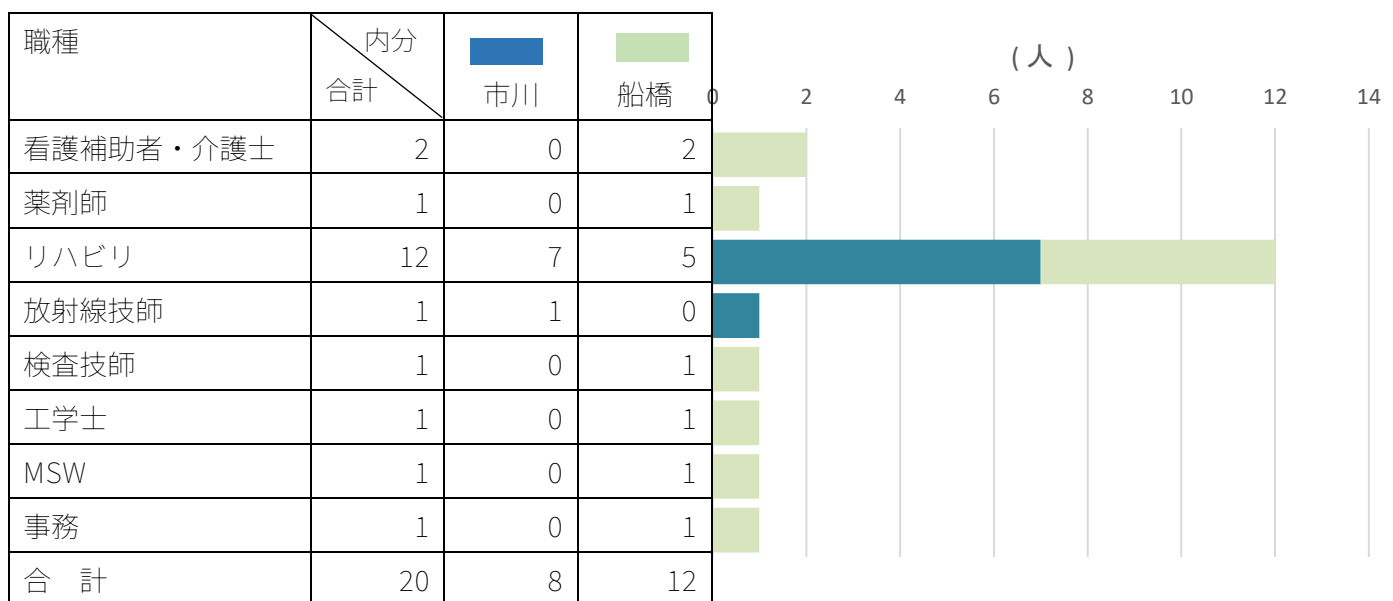


図2) 看護職以外の職種内訳

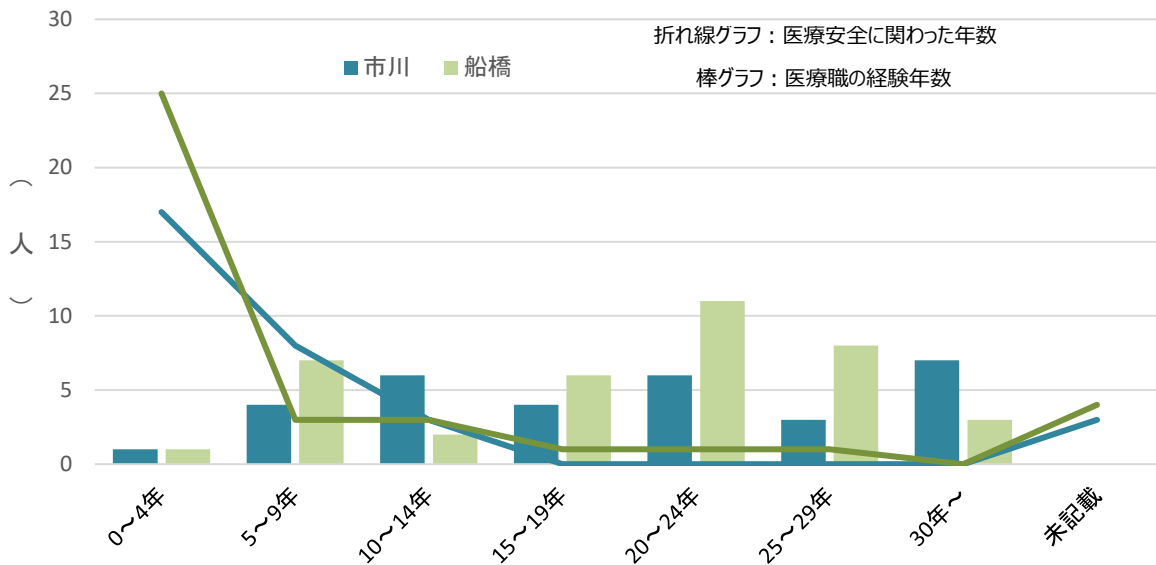


図3) 医療職の経験年数と医療安全に関わった年数について

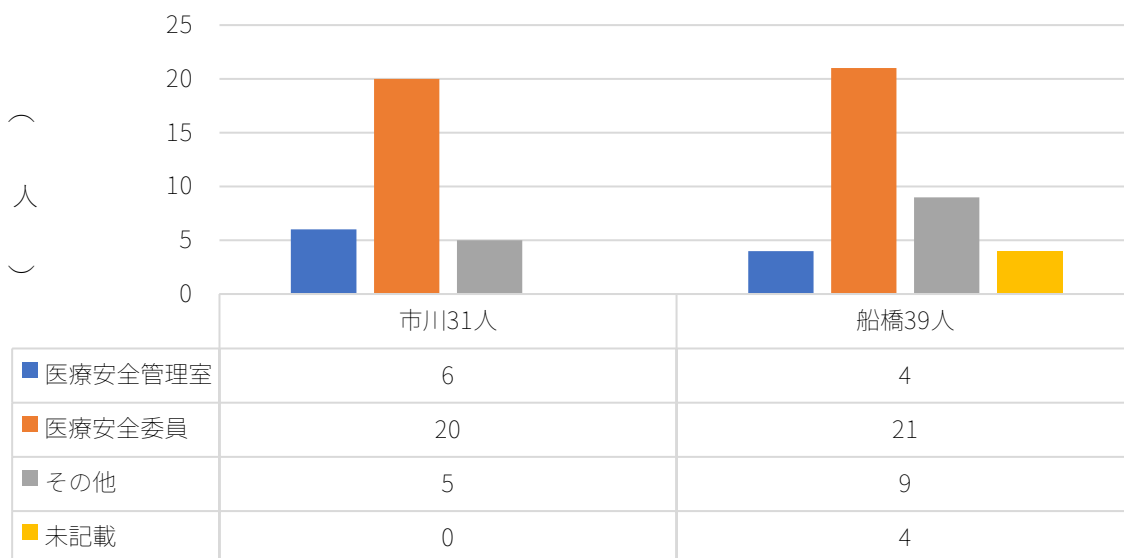


図4) 医療安全への関わり方

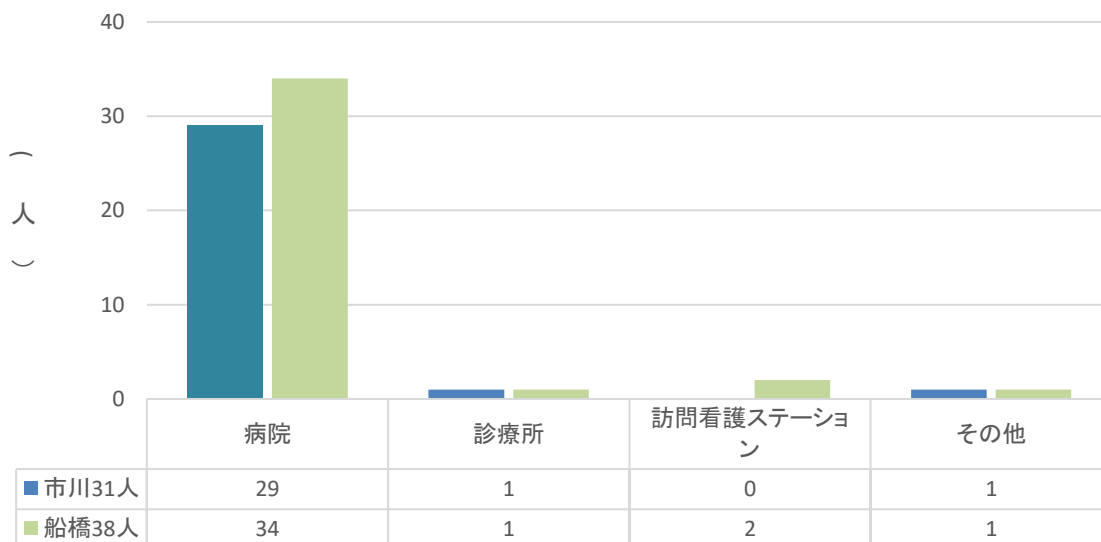


図5) 参加者の所属施設

II. チーム STEPPS について

1. チーム STEPPS について

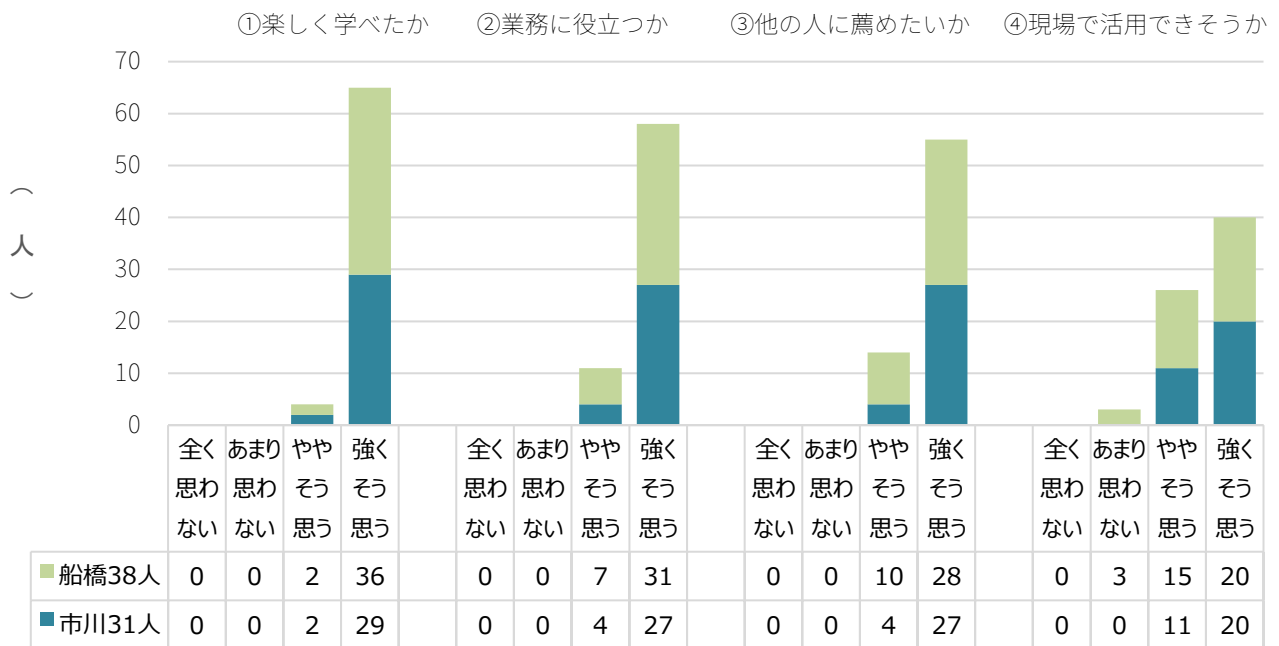


図 6) チーム STEPPS について

2. ④現場で活用できそうか、についての理由のまとめ

- ・ 日常の挨拶や声かけなど小さなコミュニケーションが、信頼関係を育み、チーム力と安全の基盤となる。
- ・ 医療安全は楽しく前向きに学ぶことで身につけやすく、グループワークや振り返りを通じて理解が深まる。
- ・ 研修で得た気づきを院内研修や日常業務に取り入れることで、協力体制やチームの一体感が高まる。
- ・ 業務の忙しさや人員不足といった課題もあるが、小さな実践を積み重ねることが改善につながる。
- ・ チーム目標を共有し、仕組み化を進めることで、現場全体の安全文化を強化できると感じた。

3. チームステップスについて印象に残ったことのまとめ

- ・ 研修は体験型で楽しく学べ、グループワークを通して協力や振り返りの大切さを実感できた。
- ・ 挨拶や声かけなど日常のコミュニケーションがチームワークと安全につながることを改めて認識した。
- ・ 医療安全は個人の責任ではなく、チームやシステム改善の視点で取り組む必要があると学んだ。
- ・ ポジティブなフィードバックや「3 good things」「アイスブレイク」などを取り入れることで、現場の雰囲気や協力体制が良くなると感じた。
- ・ 他職種との意見交換やメンタルモデルの共有が有効であり、院内研修や日常業務に活かしたいと思った。
- ・ 現場での実践を通じて、弱点を補い合える強いチームを作っていくことが重要であると再確認した。

4. チームステップスの改善点についてまとめ

- ・ 研修はわかりやすく楽しく、充実していたが、考える時間やグループワークの時間が短く慌ただしく感じた。
- ・ 配布資料と説明の対応が不明確であり、講師の PowerPoint も共有してほしいとの声があった。
- ・ カフェ形式での発表者決めはやや分かりにくく、進行上の工夫や時計の設置が求められた。
- ・ どう病院で展開していけばいいのかアドバイスもあたら良いと思う。
- ・ 対象を管理者以外や新人、医師・介護士など幅広い職種にも広げ、多様な視点で交流したい。
- ・ 実際に体験することで理解が深まり、今後は自院でも実践につなげたい。